



POINT!
「壁&床」コーディネート
 リビングの黄みを帯びたオークフローリングは、白いオイルを塗った後に拭き取って仕上げた。壁面は躯体のコンクリート素地の上に白い塗装を施すことで、質感の残るさらっとした白で統一。



POINT!
「壁&床」コーディネート
 オークのフローリングで仕上げた床に対して、大きく存在感のある梁全体を濃いグレーに塗ることで、一体となったLDK空間を引き締める。キッチンが額縁の絵のように見える効果も。



幅が3mを超えるキッチンは、床から浮かせてコンクリート壁に造作。扉は、木の質感を残しながらDIYでペイント。



フローリングの廊下を進むと、床を一段高くした洗面スペースが。ツヤのある白いモザイクタイルの床に合わせ、白・グレー・シルバーを基調としたインテリアに統一しました。

教えてくれた人

04

原布慈子さん
 ◎nuリノベーション

100%オーダー型で、間取り、設備、素材などをゼロからつくり上げるnuリノベーションのデザイナー。「家づくりを楽しんでいただけるよう、密なコミュニケーションを重視しています」



質感を残したホワイトで、空間を柔らかく包む

Iさん ◎マンション(東京都江東区)

微妙な質感を合わせながら整えたりラックス空間

リノベーションにあたり、イメージに合う画像を納得のいくまで探した夫妻。「少し影のあるニュアンストーンを、バランスよく組み合わせる」という理想にたどり着きました。具体的には「木と白を基調に、ゴールドをランプなどで差し色としながら構成しました」と設計担当の原さん。床フローリングのオークには、白いオイル塗料を塗ってから拭き取り、もやがかったような表情に。コンクリート壁には白いペンキを塗ることで、質感を整えました。柔らかな色調をベースにした、リラックス空間が広がります。

教えてくれた人

03

菅谷栄二さん
 ◎nuリノベーション

物件探しからインテリアコーディネートまでをワンストップで提供する、nuリノベーションのチーフデザイナー。「建主のパーソナリティや暮らし方に合った、適切な空間をご提案していきます」



色で緩やかに引き締めたぬくもりの室内

Tさん ◎マンション(千葉県柏市)

ちようどいい色と素材を組み合わせたシックな家

住み慣れた街でリノベーションを前に中古マンションを手に入れた夫妻。LDKをできるだけ広げたいという要望に沿って、間取りを変更。仕上げはシンプレスを軸としながら吟味を重ねました。オークのフローリングは150ミリの幅とし、クリアのオイルを塗りました。キッチンは木目調を採用し、存在感のある梁と壁の一部には、チャコールグレーを塗装。「床・壁・天井の色や素材は、バランスを見て同時に決めていきます」と、設計を担当した菅谷さん。ゆとりを感じさせるシックな空間が生まれました。



上/キッチンの壁はタイル張りに。わずかにベージュがかった白色で、存在感が出すぎないものを選択しました。



キッチンは腰壁からワークトップまで木目調をした、GRAFTEKTのシステムキッチンを採用。家具のような佇まい。